

多宝会新聞

発行所
 社会福祉法人多宝会
 本部事務局広報室
 福島市本町4-23
 024-522-6611
 mail
 honbu@
 tahokai.
 jp

我が国の少子高齢化は急速に進み、中でも「労働力不足」への懸念は年々広がっている。介護業界も多分に漏れず、否、介護業界こそが最前線で偉業を受けている分野であると言っても過言ではない。この状況をどう打開するか。キーワードは「グローバル化」である。当法人では、2019年に「外国人人材採用プロジェクト」を開始。以来、ベトナム、ネパール、ミャンマー、中国の4カ国より17名の技能実習生ならびに特定技能実習生を採用するに至り、いま多宝会の介護現場には異文化の風が吹いている。

人間主義は国境をも超えて

去る8月9日まちなか宝生園こころホールにて「令和5年度新任職員・外国人 人財研修会」が開催された。加藤理事長より「多宝会の理念と指針について」と題して講義が行われ、参加職

海外からの精鋭が多宝会の仲間に



「福島市民の暮らし展」地域行事への参画

去る9月2日アオウゼにおいて、消費者による消費行動は、社会や経済、環境問題などに広く影響を与えており、私たち一人ひとりの暮らしを見直し、より良い行動を考え、環境と持続のために「消費者の行動が未来をつくる」をテーマとして「福島市民の暮らし展」が開催され、SDGsをメインテーマとし、関連する内容の企画展示やイベント等が行われた。当日は老若男女問わず約700名の来場者があり、盛り上がりを見せた。当法人ブースにも100名を超える来場者があり「すべのの人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくり」をテーマに、高齢者体験キットを装着してもらい、高齢者疑似体験

員は、基本理念や運営指針を受講しながら、介護現場での心構えや心のこもった対応や配慮について理解を深めた。質疑応答が行われたが、日本語での研修にも関わらず、外国人の職員からも、活発な発言が多数上がった。約一時間の研修の後、外国人全員で写真撮影を行い、その後地元報道機関からの取材を受けた。



「変革的な行動」を約束する政治宣言が採択された。世



ているが、今後も適切な運営をして欲しい。」と講評があり、一切が終了した。

多宝会のSDGsの取組み

をしてもらった。実際に疑似体験をした消費者からは「本当にこんなに腕が動かなくなるの。」、「白内障ってこんなに見えななんだ。」等の驚きの声が多く、子供達からは「おじいちゃん動きが遅い理由が分かった。」「これからは、おぼあちゃんのお手伝いをもっとしよう。」等の温かい声もあった。老いというものは、全ての人に平等に訪れる。先日行われた国連本部での「SDGサミット」では、SDGsの達成は危機的状況にある認識があり「変革的な行動」を約束する政治宣言が採択された。世

界レベルから見れば、個人や市民の行動は小さいかもしれないが、世界の一人ひとりが行動すれば、いずれ大きな力となり、SDGsの達成に近づいていく。多宝会では、これからもSDGsに積極的に取り組んでいく。

よる助成金を受けて、まちなか宝生園建物修繕の業務契約1件と、実態に則した勤務時間変更の計2件である。慎重審議がなされ、満場一致で2件とも採択された。佐藤監事より「猛暑が続いているが、ご利用者はもちろんだが、職員も体調管理をしっかりして欲しい。」と講評があった。



の方が初めての海外生活であるが、彼らと過ごすなかで、文化や習慣の違いに驚きもあった。例えば、ミャンマーでは「おはよう」「こんにちは」等の挨拶が「ミンガラーバー」一語でまどまっていたり、ネパールでは鶏の玉子は茶色、アヒルの卵は白が通例である。また、ベトナムでは「つ」の発音ができないため「パンツ」が「パンチュ」と発音したりする。しかし、このような文化や習慣の違いがあっても、社会の「宝」である高齢者の方々に支援の手を差し伸べるといふ「心」は同じである。そして心が通い合えば、文化の違いや言葉の壁も乗り越えることができることを教えてもらっている。

令和5年度 第一回苦情解決第三者委員会開催

去る9月13日まちなか宝生園8階こころホールにて「令和5年度第一回苦情解決第三者委員会」が開催された。苦情解決第三者委員、苦情解決責任者、苦情解決担当者が一同に会すのは実に4年振りである。今回は、苦情解決第三者委員改選後の初委員会というところもあり、自己紹介後、内部研修を行った。齋藤圭太施設長が資料を説明し、その後資料に基づき意見交換となった。資料は、苦情受付から解決までの流れや福島県内で実際の現場でも起こりうる内容であったため、活発な意見交換がなされた。第三



第30回理事会開催

去る7月31日まちなか宝生園2階会議室において「第30回理事会」が開催された。冒頭加藤理事長より「17名の技能実習生並びに特定技能実習生が入職した。教育・サポート体制をしっかり行い、新しい仲間とともに運営をしていく。」と挨拶があった。今回の議題は、令和4年3月の地震に

第31回理事会開催

去る9月20日まちなか宝生園2階会議室において、令和5年10月1日福島県最低賃金改正に伴う、就業規則改正を議題とし「第31回理事会」が開催された。会議に先だって加藤理事長より「法に則って改正案を提案しているが、慎重審議をお願いしたい。」と挨拶があった。その後、審議された議案は提案通り満場一致で採択された。菱沼監事より「物価高、人件賃高騰になっ

施設的话题をいち早くお届けする



多宝会 HOTLINE



ケアハウスの夏祭り

今年は「屋台フェア」。たこ焼き、焼きそば等の定番から、ホタテのパター焼き、エビフライのクレープ巻きといった目新しいものまで豪華な品々が並びました。お腹と心を満たしたご利用者からは「これで今年の暑い夏を乗り切れる。」と嬉しい声が聞かれました。



デイサービスで庭園散策

四季の里に出かけ、朝ドラ「エール」のオープニングで使われた、綺麗に整備された庭園を散策しました。一通り見て回った後は、冷たいお茶とおやつを召し上がり、一息つきました。初めての企画でしたが、ご利用者からは好評でしたので、次回も企画したいと思います。



祝敬老の集い～ケアハウス

今年は白寿1名、卒寿2名、米寿5名、喜寿1名と多くの方が長寿表彰を受けました。皆様が自分らしくお過ごしになった証かと思えます。式典後は、秋の味覚の栗入り赤飯やイクラおろし等が入ったお祝膳を、話に花を咲かせながら召し上がりました。



土湯宝生園

祝敬老の集い～デイサービス

9月14日に敬老会を行い、百一賀1名、傘寿3名、米寿5名、卒寿5名、白寿1名のお祝いを行いました。表彰状授与の際に、一人ひとりから言葉を頂戴し、感極まって涙を滲ませる方もおられました。その後、思い出のスライドショーを、笑顔で視聴しました。



まちなか宝生園

音楽療法

音楽療法を開催しました。藤井先生の元気な声につられて、体をいつもより動かしたり、普段より大きな声で歌われる方もおり、皆さん笑顔でした。「昔の歌はいいわね～。」「また歌いたいね～。」と、楽しい時間を過ごしました。



夏祭り

今年も「夏祭り」を開催しました。いい匂いに誘われて、たこ焼きをパクリと！他にもクレープ、かき氷と定番の屋台が並びました。玉入れでは「惜しいな～。」「もう一回。」と、夏の暑さを吹き飛ばすぐらいに大いに盛り上がりました。



響け！アフリカンリズム

香川県の「音楽療法NPOムジカトゥッテイ」による音楽療法が行われました。多田羅康恵さんとライオンキング初代パーカッションニストB.Bモフランさん等による演奏です。初めて聞いたアフリカンリズムですが、皆さん手拍子等で、会場の一体感を感じました。



4年ぶりの音楽療法

4年ぶりの音楽療法でした。皆さん、藤井先生が来られるのを楽しみにしていました。先生がピアノを演奏すると「綺麗な音だね。」「楽しみなね。」という声が聞こえました。皆で歌ったり、手拍子をしながら、楽しい時間を過ごしました。



ほのぼの夏祭り

ミニ縁日を開催しました。的当て、亀すくいでは、競い合うゲームですので、皆さん白熱し、盛り上がりました。千本釣りでは、紐の先に景品が着いており、お菓子やぬいぐるみ等を引き当てました。最後はおやつパイキングを行い、イベントを楽しみました。



祝敬老の集い

9月15日敬老の集いを行いました。最近ではコロナ禍のなかユニットで表彰を行っていましたが、今年はホールでの開催でした。101歳の方をはじめ、紀寿1名、卒寿4名、米寿4名、喜寿1名の方が施設長から表彰状を授与され、ご利用者を代表し、菅野智枝様からご挨拶をいただきました。「こんなに祝ってもらってありがたい。」と涙ぐんで喜ばれるご利用者もいらっしゃいました。表彰の後は、栗入り赤飯やマグロのお刺身、銀鱈照焼き等が入ったお祝膳に「なんだって豪華だね～」と笑顔で舌鼓を打ちました。



アリヴァーレ・ほのぼの宝生園



祝敬老の集い

2日間にわたり「敬老の集い」を8階こころホールで執り行いました。余興では、それぞれギター、ベース等の楽器を持ち「まちなかゴールデンボンバー」のライブを行い、大いに盛り上がりました。長寿表彰では、感極まり、涙ぐむご利用者もいらっしゃいました。



西部地域包括支援センター

詐欺にあわないための知識と健康

JAさわやか部会さくら支部の方に、詐欺関係の講話といきいきもりん体操を行いました。実際に西地区で発生した事件をもとに気づきや違和感のポイントを説明したり、認知機能維持のためのコグニサイズやいきいきもりん体操を実施しました。質疑応答では沢山の質問があり、皆さんの詐欺や認知症に対する関心の高さが伺えました。



盆踊りに参加

4年ぶりに「土湯温泉 盆踊り大会」に参加してきました。久しぶりに太鼓や笛の音色を聞き、踊ることができて、皆さん喜ばれていました。今回は、外国人技能実習生等も初めて参加し、ご利用者と一緒に楽しい時間を満喫することができました。



ところてん作り

暑い夏には「ところてん！」ということで、今回は本格的に天草をじっくり煮だして固め、ところてん突きに入れ、突き棒で押し出して作りました。酢醤油をかけてつると。「昔を思い出すね。」と思いつつ話に花を咲かせながら、涼を感じていました。



祝敬老の集い

今年も各ユニットにて「敬老の集い」を開催し、ご家族の気持ちと一緒に祝いさせていただきました。今年は喜寿、傘寿、卒寿、白寿の方が各1名、米寿2名の方が授与されました。記念品は、枕や掛時計、パジャマ等の普段使いできるものや、高級海苔の佃煮や厳選ジュース等の普段の食事を少し格別にできるものをお贈りしました。授与後、マグロや栗入り赤飯等のお祝膳に舌鼓を打ち、いつもよりたくさん召し上がっていました。



宝寿木村屋

福祉の職場説明会参加
去る7月8日(日)ラッセふくしまにおいて「令和5年度 第一回福祉の職場合同就職説明会」が開催された。ブースには来年度卒予定の大学生や高校生等の求職者らが訪れ、仕事内容や福利厚生等、熱心に説明を受けていた。説明会を終えて、佐藤施設長より「求職者は減っているが、若い方の参加もあり、実のある説明会だった。」と期待の声があった。

各種ご相談は各施設までお気軽にどうぞ、見学等も随時お受けしております。

土湯宝生園	024-594-5900	西部地域包括支援センター	024-594-5800
アリヴァーレ宝生園	024-594-0061	土湯宝生園指定居宅介護支援事業所	024-594-5902
ほのぼの宝生園	024-594-0063	湯ったりデイサービス	024-594-5900
まちなか宝生園	024-521-1122	法人本部事務局	024-522-6611
宝寿木村屋	024-594-5122	URL	https://www.tahokai.jp Mail honbu@tahokai.jp